

令和3年度 第19回政策推進会議報告

日 時 3月25日 13時30分～14時00分

場 所 4-1会議室

出席者 19人

1 尼崎市空家等対策計画（素案）に対する市民意見公募手続の結果及び同計画（案）の策定について

都市整備局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）かなり意欲的に取組みを進めてきており、繰り返しにはなるが、長期入院中や施設入居中の方の住宅もこまめにチェックしないといけないということで、地域課や福祉部門との連携を意識した形になっている。ハード部門の運用だけではないということを改めて情報共有できればと思う。

2 重点課題事項の設定と勤務実績評価について

総務局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）事業の進捗は常に確認しているが、政策目的の達成のために局長級のみなさんがどういうマネジメント力を発揮したかということにもう少し意識が向くよう、人事評価の中にそういった項目を組み込めないかと考えている。

4月の重点項目の設定についても、どうしても各課からボトムアップで上がってくる項目となり、引継ぎが発生するところは特にだが、集めて終わりではなく、どの項目とどの項目が関係しているのか、どの繋がりをより充実していかなければいけないのかなど、引継ぎのときにも新旧、両方で重点的に取り上げ、確認をしてほしい。また、基本的には年度当初に決めておけないことのほうが多いので、最後は人事評価面談のところでもミッションがどれだけ進んだかという進捗を確認すると思うが、局の中でこういうことを意識してマネジメントしたということについて、年度途中に振り返りができていれば、面談でも意識的に伝えてもらうことができると思っている。

ご承知のとおり、施策評価等でも縦割りを越えていくことについてはかなり意識して取り組んでいるが、やはりまずは局の中の縦割りをいかに越えていくかが極めて重要だと思っている。組織編成についても関連が深いから一つの部になっているといった意図もあるが、全てが見えていない中で編成している部分もあるかもしれないので、やはりマネジメントを通じて「チーム分けはこのようになっていた方がいい」というような意見は、次の組織編成に向けて総務局に意見をあげていただくような、そんな流れができればと思っているのでよろしく願います。

3 令和4年度向け役職者の人事異動について

総務局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・(総合政策局長) 令和元年度からスタートしている地域振興体制の再構築について、6ヶ所の地域振興センター、それぞれの地域課に地域担当職員を配置する体制で、今年度末で丸3年が経過する。本日役職者の異動内示、来週には一般職の異動内示があり、各地域振興センター職員も一定規模、人事異動の対象となると想定している。特に地域担当職員の異動があった場合、この3年間で繋がってきた地域の方々に対し、後任の職員を紹介して回る必要があり、後任の担当はできるだけ早く決めたいと思っているが、4月1日以降、断続的にそういった引継ぎ事務が発生するので、各局のご配慮とご理解をいただきたいと思っている。

昨日の地域担当主事会において年度末の最終の発表会を行った中で、グループ討議中にある職員が、異動になったときに後任の職員への引継ぎに1ヶ月ほどかかるので、内示を1ヶ月前にしてほしいといった趣旨の発言があった。1ヶ月前というのは極端だが、それぐらいの思いを持ってグループ討議が行われていたということ、参加いただいていた船木顧問からお聞きした。研修終了後に船木顧問が来られ、ぜひ各局にはご理解とご協力を呼びかけてほしいと伝えられたため、本日この場でお願いしている次第である。

後任の職員を紹介して回ることによって一定程度、信頼関係の引継ぎみたいなことができるかと考えているので、勝手なお願いで申し訳ないがよろしくをお願いしたい。

- ・(市長) 1ヶ月はたしかに極端だが、地域の役員さんなどがあまり変わらない中でも市職員や学校関係などの組織には人事異動もあり、いわゆる内部の引継ぎ期間だけでは収まらないことも想定される。全体の地域のためにという意味でご協力をお願いしたいということ、あとはこの話を聞いて、他の部署でも同じようなことがあるだろうなと思った。例えば経済部でも人事異動があれば経済団体との繋がりなどは当然引継ぎがあるかと思う。

多くの部署で言い出すと内部の引継ぎが非常に難しくなるが、内部の引継ぎは施策評価や重点課題事項の設定を通じてポイントを押さえながらしっかり行うということでご理解いただきたい。また、そういった人間関係の引継ぎについては地域課を筆頭に、少しお互いに配慮しながら決められたらなという風にも思う。引継ぎでこんなことがあって大変だったといったことを、この春には間に合わないかもしれないが、今後のためにも情報共有し、次に向かって行きたいと思う。

- ・(森山副市長) 本日の議会で監査から報告書が出た。代表監査の8年の任期が終わるということもあり、8年間を振り返るような形で、私ども組織風土の話やシステムの話についての記載があるので、各局長にはしっかりと読んでいただきたい。特に初歩的なミスが繰り返して指摘されているわけで、どうしても簡単な事務は新しい担当者や新採職員等に割り当てる場合が多いと思うが、従前通りの内容だからというのではなくしっかりとチェックしていくことが重要である。事務分担からすると簡単だと思われる事務ほど、課長や係長などがしっかりとその事務の内容の本質を伝えていくことを意識すれば、ミスも減っていくと思う。特に指定管理者関係の事務はかなり指摘されているので、指定管理を担当する職員は、自らが最終的な管理者であるという意識を、忘れないようにしていただきたい。
- ・(市長) 重点課題事項の話に戻るが、マネジメント項目のところにも外郭団体を含むことを記載している。外郭団体については私が就任した10年以上前では自立を促していたが、今では明らかに路線を変更しており、自立を促すというある意味民営化していく団体と、逆に一体性を高

めて我々が人事交流やマネジメントを含めて一緒にやっていくという団体に分けていこうとしている。一体性を高める団体は人事や人材育成、施策評価や事業評価も一体的に、ワンチームで実施していくことを想定しており、今回、そういった外郭団体も含めていろんな異動があるが、先ほど申し上げたような方針、考え方などに基づいて人事異動を実施している。なかなか100点ということが難しく皆様にはご苦労やご負担をかける部分がどうしても出てくると思うが、この異動にはどういう狙いがあるのか、どういうミッションなのかということはぜひ遠慮なく三役に声を届けていただきたい。それはお互いのためであり、来年度の業務の質を上げていくことにも繋がるので、遠慮なく、ぜひお問い合わせや確認、いろんなことを言っていただきたい。

4 その他

- 都市整備局長から、「災害時における道路の通行確保や電気設備等の復旧に係る相互連携・協力に関する覚書」の締結について説明。
- 都市整備局長から、東高州橋の復旧工事について説明。
- 公営企業管理者から、「親子であそべる遊具施設「モーヴィあまがさき」オープン！！」について説明。

以 上